

いっぽ だより

はじめのいっぽ

2023年6月28日

畑に植えた作物も、周りの景色も緑が益々色鮮やかに生えてきた今日この頃、みなさん如何お過ごしでしょうか。

いっぽの子どもたちが待ちに待った運動会も、天候に悩まされながらも無事に終わり、一人ひとり良い思い出ができたことでしょう。6月10日に行われたいっぽ食堂は、何日も前から子どもたちと職員により準備をすすめてきました。おかげさまで、親御さんや近所のお客さんに来て頂き、薬膳カレーや途別で採取した山菜の煮物、サラダを提供し大好評でした。本当にお疲れ様でした。

先日の新聞に、南米のコロンビアで小型飛行機がジャングルに墜落した記事が載っていました。40日ぶりに軍によって行方不明者の子どもたちが発見され、「奇跡、奇跡、奇跡だ」との報告でした。子どもたちは飛行機で父親のもとに向かう途中で、13歳の長女を頭に9歳、4歳、1歳の4人きょうだい。残念なことに、この子らの母親ら3人の大人は亡くなっていたのが辛いことです。ただ子どもたちの父親は長女は密林の中でも生きるすべを身につけているはずだとして希望を捨てていなかった。まさしくその通りの奇跡でした。

このような事故を私たちに置き換えた時、こんなに長くジャングルの中で生きられる事が出来ただろうか。はなはだ自信が持てない。

はじめのいっぽに通う子どもたちは、日中は学校で勉強と体育の授業を受け終わると、いっぽでの活動、ゆっくり体を休める子、宿題をする子、そして元気よく外活動。また最近では活動の最後みんなで歌を歌ってスッキリして家路につきます。そんないっぽでの生活はただ単に時間を消化することではなく、子どもたちが大きくなって社会に出た時に困らないように、社会で生きるためのすべを身につけてもらおうと取り組んでいます。

このコロンビアの少女のように、たくましい人に成長してもらいたいと思います。

代表 石橋 和久



7月のスケジュール

| 日時 | 行事 |
|----------|-----------|
| 7月3日～(火) | いっぽまつりご案内 |
| 7月18日(火) | 定例会議 |
| 7月21日(金) | あっちこっち紙芝居 |
| 7月28日(金) | 避難訓練 AM |
| 7月28日(金) | 避難訓練 PM |

大切なご連絡

8月5日は、いっぽまつりを開催する予定となっております。保護者の参加も可能となっておりますので奮ってご参加ください。なお、ご案内は7月上旬にいたします。

小中学生編（6月活動）

～いっば食堂～

「今年のいっば食堂は、何にする？」から、子どもたちとの打ち合わせが始まりました。「らーめんがいい!」「焼きそばのほうが美味しいよ」「ステーキが食べたい」・・・などなど。話し合いの先には、自分の食べたいものがどんどんあふれてきました。そして、いよいよだれもが大好きな“カレー”に決定。でも、いつものカレーも美味しいけれど、せっかくのいっば食堂！本格的な薬膳カレーに挑戦してみよう！！ということになりました。

メニューが決まれば、あとは必要なものを作ったり、買い出しに行ったりと、社会勉強をすることにもつながりました。

当日の受付練習では、名前を聞かなければならないとき、「誰のお母さん？でいいですか」、「だめ！すごく失礼だと思う」、「どちらさまですか？にしよう!」など。ウエイトレスは、先生をお客さんにして、「立ったまま置くのは変だし、あぶないよね」「きちんと膝をついて、目線を同じにしないといけないね」などなど、1年たっただけで忘れていたこともたくさんあったので、やっぱり練習することが、自信につながったかと思えます。スタッフとご家族の皆様との交流もでき、とても温かなひと時を、忙しいながらも、厨房から拝見することが出来たこと、とても嬉しかったし、何より子どもたちと働けて、楽しかったです！これなら、毎日でも食堂やりたいです。



「準備とリハーサル」



「いよいよ本番です!」



～花植え

いっばの周りを花壇にして、花を植えようと長崎先生が朝早くから準備をしてくれていました。今月はその花壇に花を植えようと、みんなで協力し合いながら 250 株のマリーゴールドを植え、いっばが一気に明るくなりました。



～日々の出来事～

日増しに暖くなり、シャボン玉や川遊びが増えていく中、ご近所さんの犬の「まるちゃん」が散歩の途中遊びに来てくれ、子どもたちは大はしゃぎ！機会があればミーとメーも仲間に入れて遊んでみたいものです。



ひつじ組 編 (午前未就学児)

～自信に満ちた顔～



毎日見てるとなかなか気付きませんが、4月と比べても明らかに子どもたちの顔つきが変わって来ています。何かに取り組む目つきやスタッフを見返す目つきが自信に満ちております。そんな子どもたちの気持ちを精一杯受け止めて、思いっきり褒めてあげる事を大切に、自尊心が育ってくれればと思っています。

～6月の仲間たち～



ゆっくり、じっくり、ていねいに、まだ言葉を十分に発することが出来ずとも、子どもたちの発する表情や態度を見逃さず、その都度ふさわしい関りをする事で、確実に成長していきます。又、幼児期は、年齢キロ歩く必要があると言われていたほど、歩くことは脳の発達にとってなによりのもの。そして子供の成長に不可欠な自然物が、ゴロゴロ転がっているのが、“お外”と思っております。まさに、自然は宝物！

